

各関係機関長 様

熊本県病害虫防除所長

病害虫発生予察特殊報について(送付)
このことについて、発生予察特殊報第6号を発表しましたので送付します。

特 殊 報

令和5年度(2023年度)発生予察特殊報第6号

令和6年(2024年)1月30日
熊本県病害虫防除所長

- 1 病害虫名 フシダニ科の一種
- 2 学 名 *Aceria* sp.
- 3 発生作物 ニラ(ヒガンバナ科)

4 発生確認の経過

令和5年(2023年)11月、県内のニラ栽培ほ場において、葉が湾曲する被害が確認された(図1)。被害株を確認したところ、フシダニ科のダニが寄生しており、葉鞘内部では水疱状の隆起が確認された(図2、図3)。被害様相や虫体の形態から同年9月に栃木県の特殊報で報告されたダニと同一種であることが疑われたため、法政大学植物医科学センターに同定を依頼した。その結果、*Aceria*属のダニと同定され、栃木県で発生したものと同一種であることが確認された。

5 国内の発生状況

令和5年(2023年)9月に栃木県で発生が初めて確認された。高知県でもフシダニ科の報告(2023年12月)があるが、当県で確認されたダニと高知県で確認されたものが同一種か否かは不明である。

6 形態及び生態等の特徴

(1) 形態

成虫は体長約0.2mmで、白色または淡黄色のうじ虫型である。また、卵は白色半透明の球型である。

(2) 生態

本種はフシダニ科*Aceria*属の既知種とは外部形態や塩基配列が異なる別種であり、生態は不明である。

(3) 被害

本種は葉鞘部や葉の基部での寄生が多い。寄生部では水疱状の隆起が発生し、症状が進むと葉が湾曲して奇形化する。これは寄生が多い葉鞘内部での被害が

葉の伸長に伴い上部に進展して発生すると考えられる。

7 防除対策

- (1) 令和6年1月30日現在、ニラにおける本種に対する登録農薬はない。
- (2) 本種の発生を肉眼で確認することは困難であるため、ほ場内での被害株の早期発見に努め、発生が認められた場合は株ごと除去し、ほ場外で適切に処分する。
- (3) 手袋や農機具等を介した本種の移動を防ぐため、発生ほ場での作業後の洗浄を徹底する。



図1 葉が湾曲したニラ被害株



図2 葉鞘部に発生した水疱状の隆起

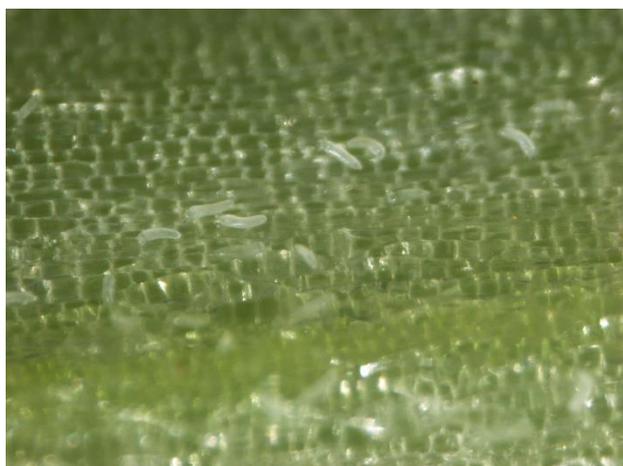


図3 葉鞘内部に寄生するフシダニ科の一種

熊本県病害虫防除所
(熊本県農業研究センター 生産環境研究所内)
担当：岡島、福岡
TEL 096-248-6490 FAX 096-248-6493